

(1) 令和3年度の調査について

①埋没堀調査 目的と成果

[調査原因] 青葉山公園整備 (公園センター駐車場建設)

[調査目的] 埋没した江戸時代の堀の確認

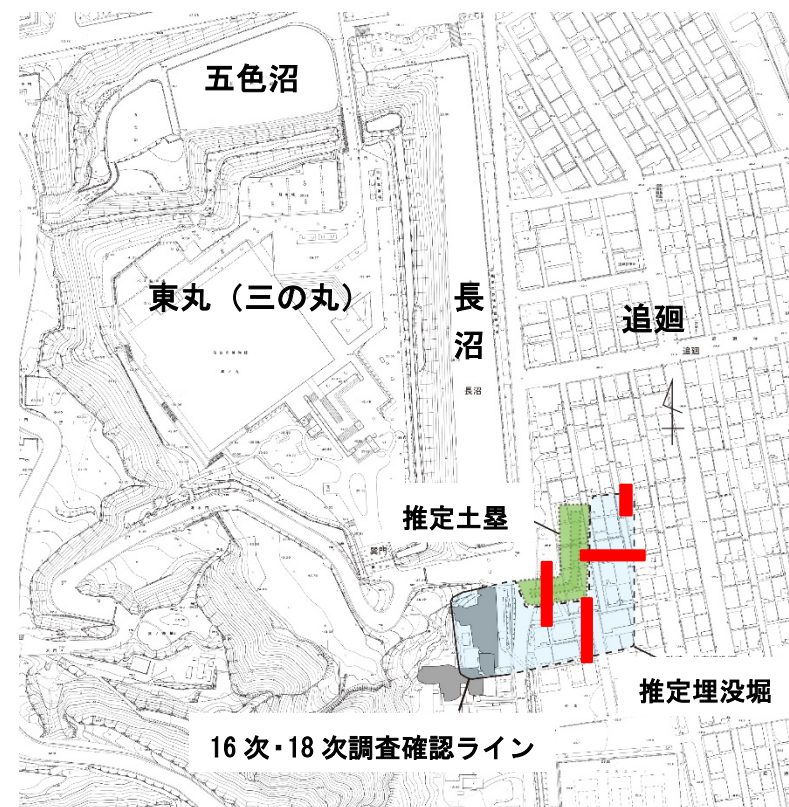
- ・ 絵図でみられる「コ」の字形の堀および土塁の痕跡を確認し、その位置を明らかにする。

[調査期間] 令和3年5月10日～7月9日

[調査面積] 1区:約128㎡ 2区:約110㎡ 3区:約148㎡ 4区:約83㎡

[調査成果] 1～4区で堀の方を検出。「コ」の字形の範囲を確認

- ・ 各調査区で、堀の方部に杭列を検出。
- ・ 練兵場造成の際に、土塁を崩して堀を埋めている堆積状況を確認。
- ・ 4区で石列を検出。



埋没堀 調査位置図



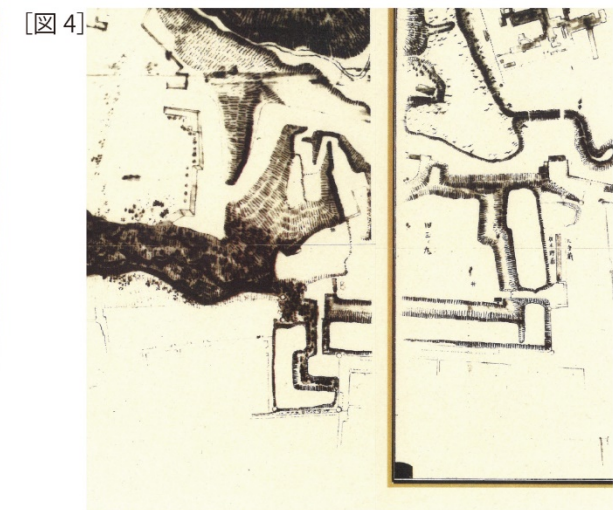
[図1] (西暦) 1645・1646年 (和暦) 天保2・3年
(資料名)「奥州仙台城絵図」(所蔵・引用元) 仙台市博物館蔵
(記載内容) 長■■ 口八間(14.48m) 深二間(3.62m)



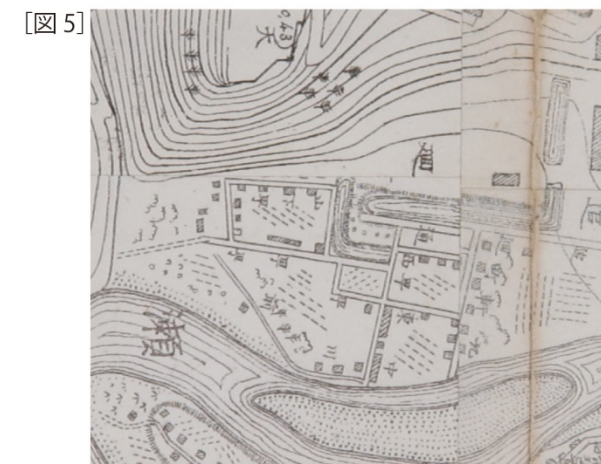
[図2] (西暦) 1682年 (和暦) 天和2年
(資料名)「奥州仙台城并城下絵図」(所蔵・引用元) 宮城県図書館蔵
(記載内容) 此所水際ヨリ高二間三尺(4.52m)
此所水際ヨリ二間一尺五寸(4.07m)



[図3] (西暦) 1673・1682年 (和暦) 寛文8～天和2
(資料名)「仙台城絵図」(所蔵・引用元) 仙台市博物館蔵
(記載内容) 堀長五十間(90.5m) 幅十五間(27.15m) 深二間(3.62m)



[図4] (西暦) (和暦) 明治初期
(資料名)「青葉旧城之図」(所蔵・引用元) 不明



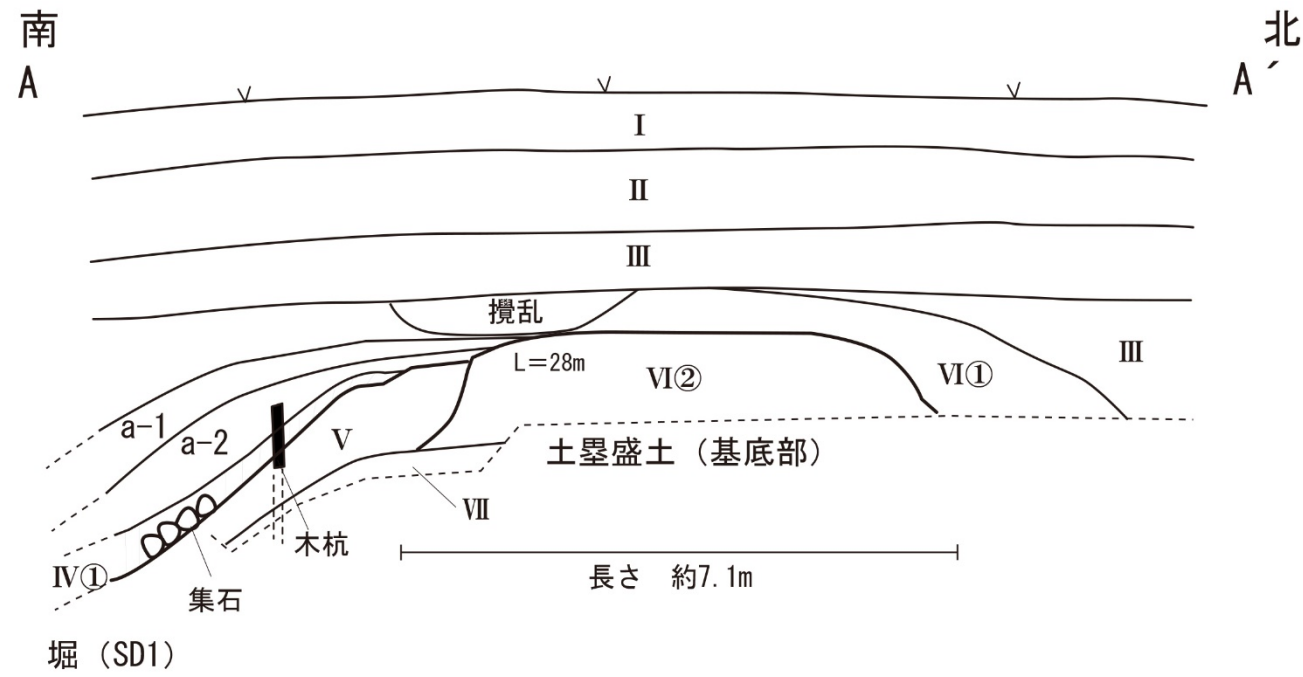
[図5] (西暦) 1882年 (和暦) 明治15年
(資料名)「仙台区及近傍村落之図」(所蔵・引用元) 仙台市博物館蔵



[図6] (西暦) 1912年 (和暦) 大正元年
(資料名)「最新版市街町村及番地入 仙台市全図」
(所蔵・引用元) 仙台市博物館蔵

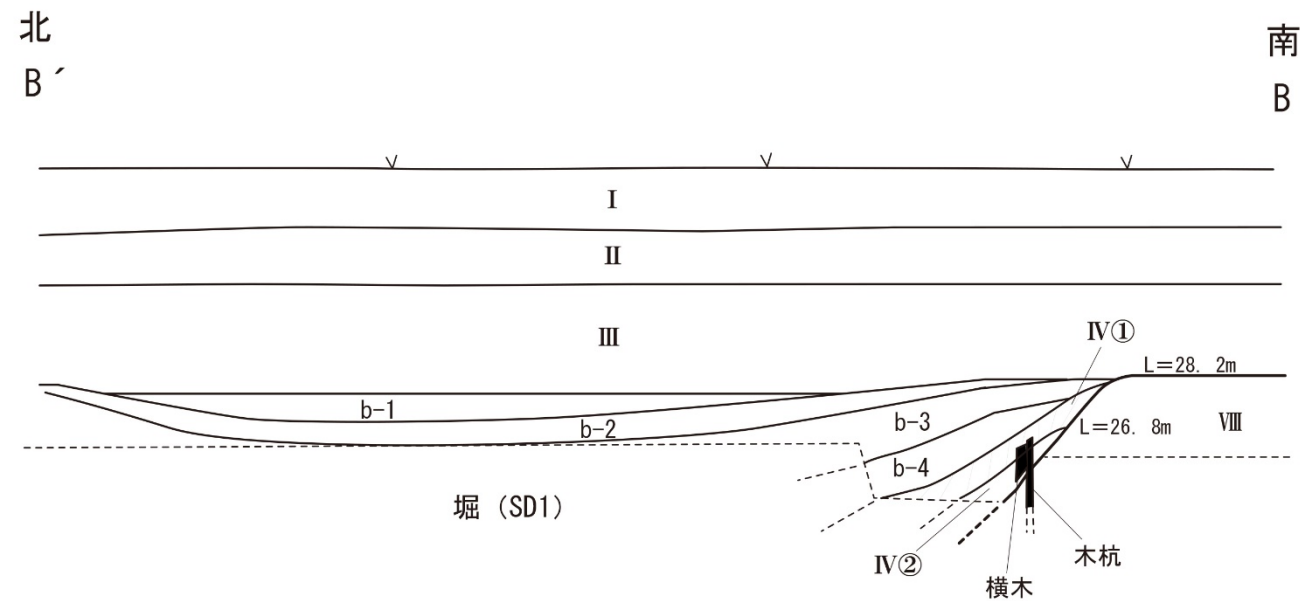
埋没堀 基本層序

[図7] 1区(土塁側)西壁断面模式図

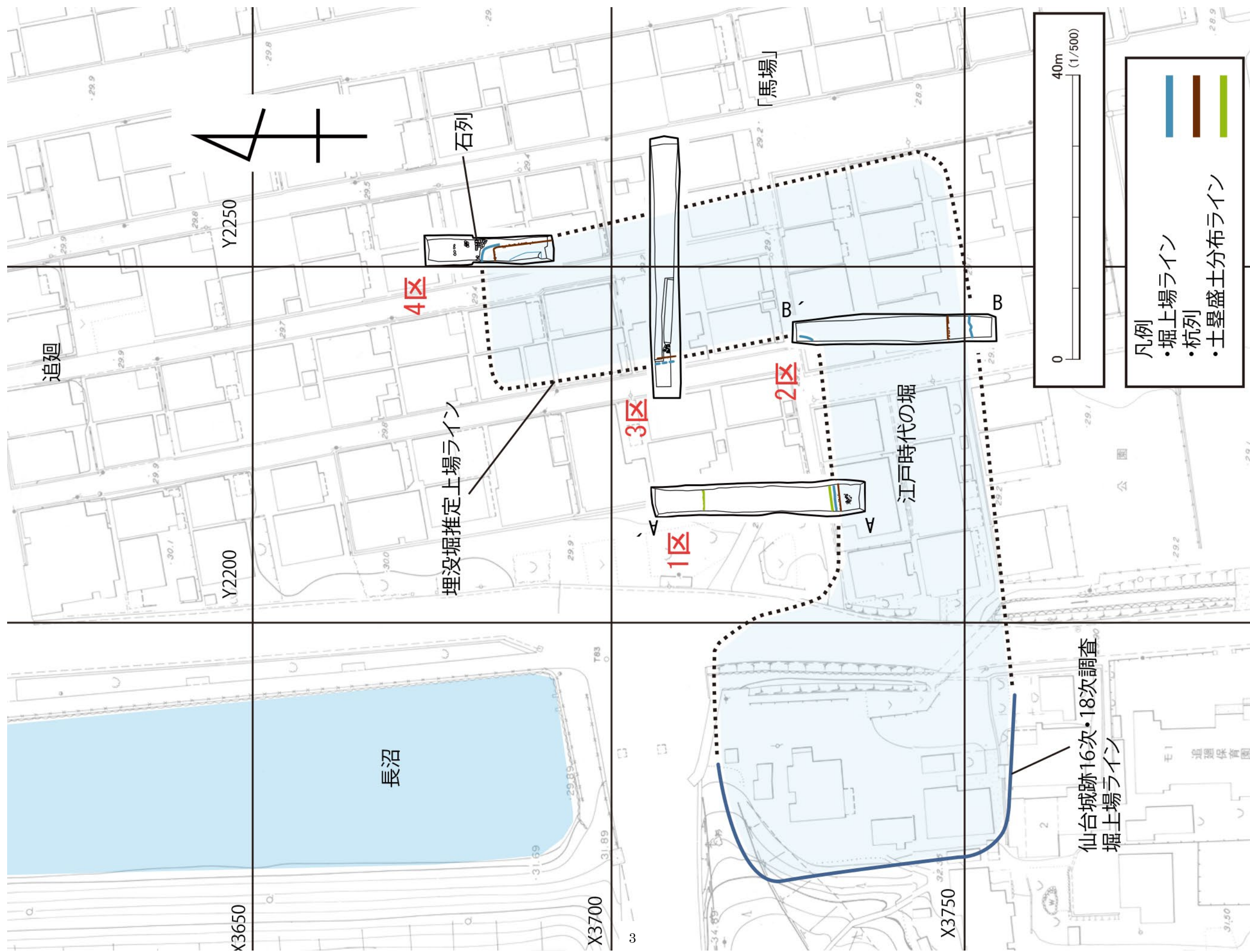


I層	: 「現代の表土」	砕石
II層	: 「追廻住宅期の整地土」	にぶい黄橙色シルト
III層	: 「追廻練兵場期の表土」	暗オリーブ褐色シルト
IV①層	: 「堀法面の地表」	黒褐色粘土質シルト (植物の腐食層)
IV②層	: 「堀法面の水性堆積層」	暗オリーブ砂質土
V層	: 「堀法面の造成土」	暗褐色粘土質シルト
VI①層	: 「土塁盛土」	黄褐色シルト
VI②層	: 「土塁盛土」	にぶい黄色粘土質シルト
VII層	: 「地山か整地層か不明」	暗灰褐色粘質土
VIII層	: 「地山か整地層か不明」	暗褐色粘土質シルト

[図8] 2区 東壁断面模式図



[図9] 埋没堀 調査区配置図(500/1)



②広瀬川護岸石垣（崩落部上面）調査 目的と成果

[調査原因] 青葉山公園整備

[調査目的] 石垣上面の遺構確認

- ・崩落した石垣の残存状況と石垣背面構造の確認

[調査期間] 令和3年7月14日～7月30日

[調査面積] 調査区:約85㎡

[調査成果] 石垣背面のぐり層（裏込め石）の範囲を確認し、石垣天端面で近世の遺構を検出

ぐり層の残存状況から、近代に排水管設置の際、石垣を崩した可能性がある

- ・石垣上面で溝状遺構を確認し、溝底面にピットを約20個以上検出
- ・石垣上面で石列を確認。

[近世] ・広瀬川護岸石垣は、石垣修復の際に、幕府に普請窺を提出している

→城の石垣として認識され、維持管理されてきている

[近代] ・昭和20年(1945)に「追廻住宅」が整備

→追廻住宅の排水のためヒューム管（2本）が設置される



広瀬川護岸石垣 調査位置図



[図1] (西暦) 1645・1646年 (和暦) 天保2・3年
(資料名)「奥州仙台城絵図」(所蔵・引用元) 仙台市博物館蔵
(記載内容) 長三百六十間(654.49m) 高二間(3.62m)



[図2] (西暦) 1682年 (和暦) 天和2年
(資料名)「奥州仙台城并城下絵図」(所蔵・引用元) 宮城県図書館蔵
(記載内容) 此所石垣高二間三尺(4.52m)



[図3] (西暦) 1673～82年 (和暦) 寛文8～天和2
(資料名)「仙台城絵図」(所蔵・引用元) 仙台市博物館蔵
(記載内容) 是ヨリ道ニテ石垣長五十七間(103.6m) 高七尺五寸(2.27m)
是ヨリ道ニテ石垣長百間(181.8m) 高二間三尺(4.52m)



[図4] (西暦) 1786～89年 (和暦) 天明6～寛政元
(資料名)「仙台下絵図(天明絵図)」(所蔵・引用元) 仙台市博物館蔵



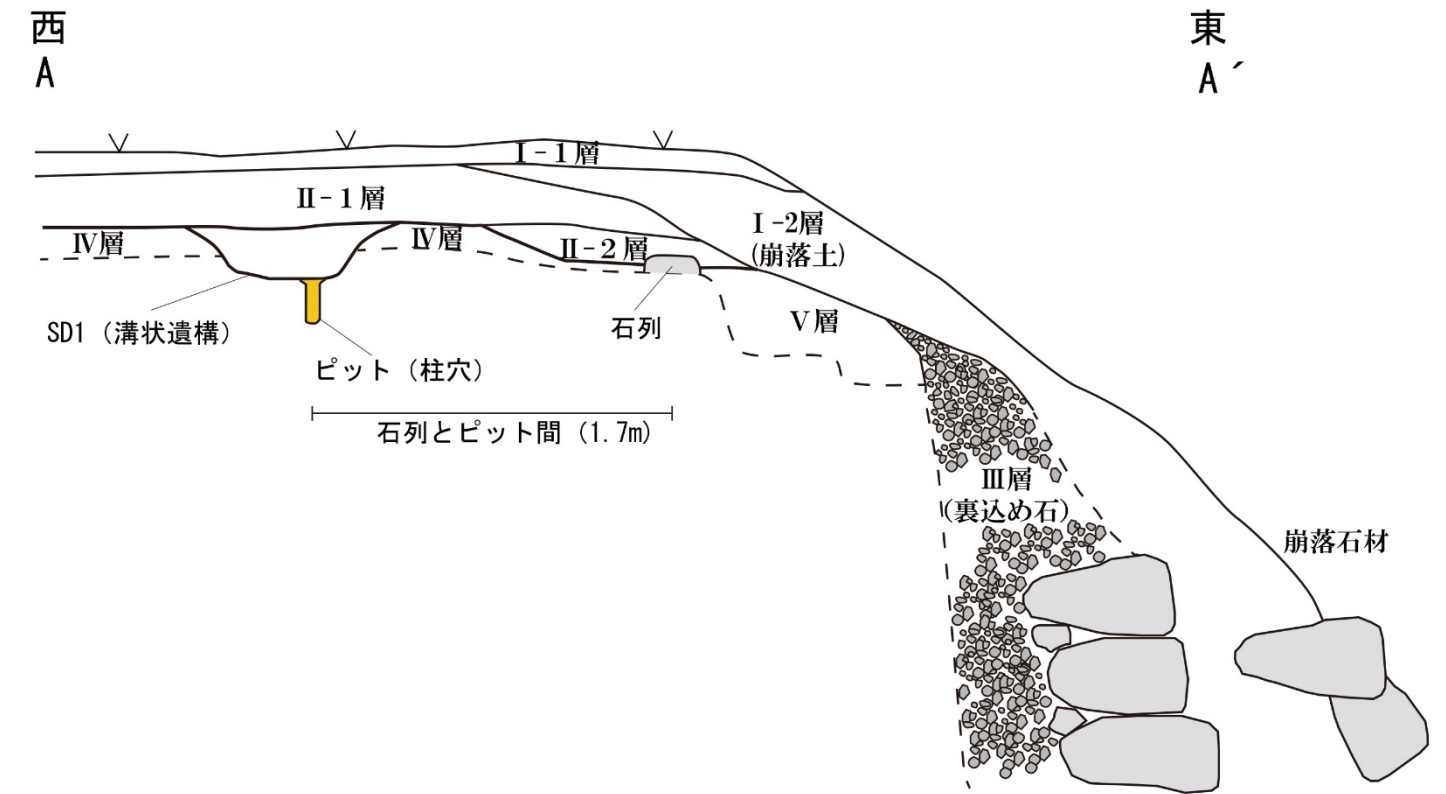
[図5] (西暦) 1882年 (和暦) 明治15年
(資料名)「仙台区及近傍村落之図」(所蔵・引用元) 仙台市博物館蔵



[図6] (西暦) 1912年 (和暦) 大正元年
(資料名)「最新版市街町村及番地入 仙台市全図」
(所蔵・引用元) 仙台市博物館蔵



[図7] 広瀬川護岸石垣 天端面調査区 (南から)



[図9] 広瀬川護岸石垣 断面模式図



[図8] 広瀬川護岸石垣 天端面調査区 (南から)

広瀬川護岸石垣 基本層序

I-1層	: 「現代の表土」	黒褐色シルト
I-2層	: 「追廻住宅期の崩落土」	黒褐色粘質シルト
II-1層	: 「近代の整地層」	灰黄褐色粘質土
II-2層	: 「近代の整地層」	黄褐色砂質シルト
III層	: 「ぐり層 (裏込め石)」	川原石
IV層	: 「近世整地層」	黄褐色粘質シルト
V層	: 「近世整地層 (石垣背面盛土?)」	黄褐色砂質シルト